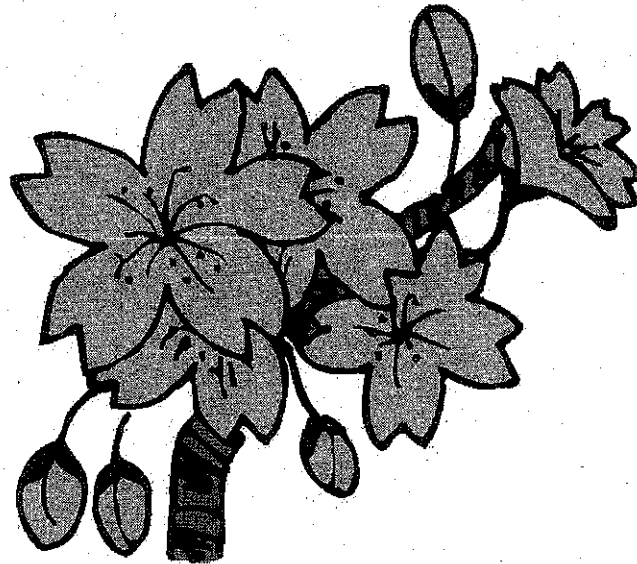


平成30年度

石狩管内社会教育委員連絡協議会

総 会



日 時	平成30年4月11日(水)
	14時30分開始
会 場	新篠津村自治センター 一般研修室

◇◇石狩管内社会教育委員連絡協議会◇◇

～ 次 第 ～

1. 開 会

2. 主催者挨拶 石狩管内社会教育委員連絡協議会会長 佐 藤 千 佳

3. 来 賓 挨 拶 北海道教育庁石狩教育局長 岩 渕 隆 様

4. 議 長 選 出

5. 議 事 報告第1号 平成29年度 事業報告
報告第2号 平成29年度 収支決算報告
報告第3号 平成29年度 会計監査報告

議案第1号 平成30年度 活動方針（案）
議案第2号 平成30年度 事業計画（案）
議案第3号 平成30年度 収支予算（案）
議案第4号 役員改選（案）

6. 議 長 退 任

7. そ の 他

8. 閉 会

◇情報提供：石狩教育局教育支援課 社会教育指導班 主査 清 水 秀 紀 様

平成 29 年度 事業報告

1. 北海道社会教育委員連絡協議会総会

日時：平成 29 年 4 月 20 日（金） 14 時 30 分～

会場：かでる 2・7 10 階 1030 会議室

内容：平成 28 年度事業報告及び収支決算報告、監査報告について

平成 29 年度活動方針、事業計画及び会計予算 ほか

参加者数：2 名

（道社連協監事：木村副会長、オブザーバー：石狩市教育委員会 齊藤主査）

2. 石狩管内社会教育委員連絡協議会 総会

日時：平成 29 年 4 月 25 日（火） 14 時 30 分～

会場：新篠津村自治センター 一般研修室

内容：平成 28 年度事業報告及び収支決算報告、監査報告について

平成 29 年度活動方針、事業計画及び収支予算について

役員改選について ほか

参加者数：21 名

3. 第 59 回全国社会教育研究大会北海道大会

◎石狩管内は、1 日目の開会式から閉会式までを準備、運営する「全体会」を担当

日時：平成 29 年 9 月 11 日（火）～13 日（水）（※11 日は準備日）

会場：札幌コンベンションセンター

内容：研究主題『まちづくり・人づくりに地域ぐるみで取り組む社会教育の在り方
～今こそ、社会教育委員の出番～』

（1）記念講演

演題 「思うは招く」～夢があればなんでもできる～

講師 株式会社 植松電機 代表取締役社長 植松 努 氏

（2）パネルディスカッション

研究主題をテーマに会場参加型のパネルディスカッションを実施

（3）分科会

6 のテーマに分かれ分科会を実施

4. 第 37 回北海道市町村社会教育委員長等研修会

第 59 回全国社会教育研究大会北海道大会と兼ねて開催

5. 第 57 回北海道社会教育研究大会

第 59 回全国社会教育研究大会北海道大会と兼ねて開催

6. 石狩管内市町村社会教育委員等研修会（開催地：北広島市）

日時：平成 29 年 11 月 12 日（日）

会場：北広島市役所 1 階 多目的室 4

内容：研修テーマ「まちづくり・人づくりに地域ぐるみで取り組む

社会教育の在り方」

（1）事例発表

内 容：生涯学習振興会の取り組みについて

発表者：大曲地区生涯学習振興会 橋本 勝晴 氏

東部地区生涯学習振興会 小川 幸夫 氏

（2）グループディスカッション

内 容：事例発表を踏まえ、社会教育関係団体が抱える課題や、社会教育活動とはどうあるべきか、今後果たすべき社会教育委員の役割について意見交換を行った。

ファシリテーター：北海道教育庁石狩教育局社会教育指導班主査

清水 秀紀 氏

（3）基調講演

テーマ：「まちをつくる・人をつくる～社会教育政策論」

講 師：元酪農学園大学環境システム学部環境マネジメント学科教授

松本 懿 氏

（4）施設見学 北広島市役所新庁舎

参加者数：33 名

※研修会終了後交流会

7. 平成 29 年度 北海道永年勤続功労社会教育委員表彰受賞者

受賞者 当別町 高橋 千枝子 氏

《報告第2号》

平成29年度 収支決算報告

【収入の部】

(単位：円)

科目	決算額 (A)	予算額 (B)	比較増減 (A) - (B)	摘要
繰越金	99,623	99,623	0	
助成金	140,000	140,000	0	管内教育委員会協議会 55,000円 道社連協 85,000円
負担金	258,000	261,000	△ 3,000	管内市町村より @3,000円×86名
雑収入	0	77	△ 77	預金利息
計	497,623	500,700	△ 3,077	

【支出の部】

(単位：円)

科目	決算額 (A)	予算額 (B)	比較増減 (A) - (B)	摘要
事務費	3,024	25,000	△ 21,976	会場使用料、振込手数料
研修費	71,717	170,000	△ 98,283	管内研修(北広島市)
負担金	258,000	261,000	△ 3,000	道社連協負担金 @3,000円×86名
参加旅費	4,400	15,000	△ 10,600	【道社連総会・理事会】 参加旅費、交流会会費
予備費	0	29,700	△ 29,700	
計	337,141	500,700	△ 163,559	

(収入 497,623円) - (支出 337,141円) = 160,482円 (次年度に繰越)

平成29年度 会計監査報告

平成29年度会計に係る監査を執行したので、その結果を次のとおり報告する。

記

1. 監査完了期日 平成30年4月11日
2. 監査の対象 平成29年度会計
3. 監査の結果 関係帳簿及び書類等につき総合的に審査した結果、適正に処理されていることを認めます。

平成30年4月11日

石狩管内社会教育委員連絡協議会

監事（江別市） 佐藤 レイ子

⑨

監事（当別町） 高橋 千枝子

⑨

平成 3 0 年度 活動方針（案）

多様化する社会問題を背景に地域における教育課題も、年々深刻さを増しており、中でも少子高齢社会の進展や人間関係の希薄化、家庭や地域の教育力の低下など、様々な歪みやアンバランスが起きております。

このことは、生きることへの不安の増大を招き、安全・安心な暮らしの営みが危惧されるとともに、人々の「心」に影響を及ぼす問題が数多く現れてきており、“心の豊かさ”の欠如に繋がっていくこととなります。

個人と社会とのつながりが弱くなっている状況にある今こそ、地域社会は「支え合い」「助け合い」「つながり合い」を基本とする「新しい公共づくり」に貢献する視点を持つことが必要です。

とりわけ地域住民の代表として、活動する社会教育委員の役割は極めて重要であり、地域住民のニーズや地域課題を明確に把握し、その解決と地域社会の活性化を目指して、地域づくりの一翼を担う委員活動を推進する必要があります。

石狩管内社会教育委員連絡協議会として、先人が築いた歴史と伝統を引き継ぎ、改めて責務の重要性を自覚し、研修機会等を通じた自己研鑽や相互交流を図る中で、北海道社会教育委員連絡協議会が掲げる活動方針と、それらの基軸を成す推進事項を尊重しながら、石狩管内の社会教育の充実と発展のため、積極的に活動していくことを今年度の活動方針とします。

〔推進事項〕

1. 「新しい公共づくり」に貢献する社会教育委員の役割を考え、委員一人一人が自己変革を図るとともに、社会教育の振興、生涯学習の推進に努める。
2. 研修活動や情報交流活動を積極的に行い、社会教育委員としての役割の自覚と資質向上を図るとともに、研修成果の住民還元に努める。
3. 時代の流れを見据えた組織の運営・充実に努める。

《議案第2号》

平成30年度 事業計画（案）

1. 石狩管内社会教育委員連絡協議会総会
日時：平成30年4月11日（水）14時30分～
会場：新篠津村自治センター 一般研修室
内容：平成29年度事業報告、収支決算報告、監査報告
平成30年度活動方針（案）及び事業計画（案）について
平成30年度収支予算（案）について ほか
2. 北海道社会教育委員連絡協議会総会
日時：平成30年4月20日（金）14時30分～
会場：かでの2・7 10階 1030会議室
内容：平成29年度事業報告
平成29年度決算報告、会計監査報告
平成30年度活動方針、並びに事業計画
平成30年度予算 ほか
3. 第38回北海道市町村社会教育委員長等研修会
日時：平成30年7月上旬
会場：かでの2・7
4. 第58回北海道社会教育研究大会後志大会
日時：平成30年10月12日（金）～13日（土）
会場：ルスツリゾートホテル
5. 石狩管内市町村社会教育委員等研修会
日時：（調整中）
会場：恵庭市
内容：研修テーマ（未定）
・基調講演 など

《議案第3号》

平成30年度 収支予算(案)

【収入の部】

(単位:円)

科目	H30 予算額(A)	H29 予算額(B)	比較増減 (A) - (B)	摘要
繰越金	160,482	99,623	60,859	
助成金	140,000	140,000	0	管内教育委員会協議会 55,000円 道社連協 85,000円
負担金	258,000	261,000	△ 3,000	管内市町村より @3,000円×86名
雑収入	18	77	△ 59	預金利息 他
計	558,500	500,700	57,800	

【支出の部】

(単位:円)

科目	H30 予算額(A)	H29 予算額(B)	比較増減 (A) - (B)	摘要
事務費	25,000	25,000	0	事務用品、郵便代、振込手数料、会場 使用料 等
研修費	170,000	170,000	0	管内研修(恵庭市)
負担金	258,000	261,000	△ 3,000	道社連協負担金 @3,000円×86名
参加旅費	15,000	15,000	0	
予備費	90,500	29,700	60,800	
計	558,500	500,700	57,800	

役員の改選（案）

石狩管内社会教育委員連絡協議会規約第7条により、次のとおり
役員を改選いたしたく承認を求めます。

（別表「役員・研修会場等の割当表参照」）

（平成30・31年度 役員）

会 長	（石狩市社会教育委員の会議 委員長）	<u>木村 純</u> 氏
副会長	（江別市社会教育委員の会議 委員長）	<u>佐藤 レイ子</u> 氏
監 事	（当別町社会教育委員長）	<u>高橋 千枝子</u> 氏
監 事	（千歳市社会教育委員長）	<u>釣 晴彦</u> 氏

（平成28・29年度 役員）

会 長	（新篠津村生涯学習委員長）	佐 藤 千 佳 氏
副会長	（石狩市社会教育委員の会議 委員長）	木 村 純 氏
監 事	（江別市社会教育委員の会議 委員長）	佐 藤 レイ子 氏
監 事	（当別町社会教育委員長）	高 橋 千枝子 氏

役員・研修会場等の割当表

年度	会 長 (事務局)	副会長	監 事	研修会場	備 考
26	恵庭市	新篠津村	石狩市	当別町	道社連協理事：恵庭市 道社連協評議員：新篠津村・石狩市
27			江別市	石狩市	
28	新篠津村	石狩市	江別市	江別市	道社連協理事：新篠津村 道社連協評議員：石狩市・江別市
29			当別町	北広島市	
30	石狩市	江別市	当別町	恵庭市	道社連協理事：石狩市 道社連協評議員：江別市・当別町
31			千歳市	千歳市	
32	江別市	当別町	千歳市	新篠津村	道社連協理事：江別市 道社連協評議員：当別町・千歳市
33			北広島市	当別町	
34	当別町	千歳市	北広島市	石狩市	道社連協理事：当別町 道社連協評議員：千歳市・北広島市
35			恵庭市	江別市	
36	千歳市	北広島市	恵庭市	北広島市	道社連協理事：千歳市 道社連協評議員：北広島市・恵庭市
37			新篠津村	恵庭市	
38	北広島市	恵庭市	新篠津村	千歳市	道社連協理事：北広島市 道社連協評議員：恵庭市・新篠津村
39			石狩市	新篠津村	
40	恵庭市	新篠津村	石狩市	当別町	道社連協理事：恵庭市 道社連協評議員：新篠津村・石狩市
41			江別市	石狩市	
42	新篠津村	石狩市	江別市	江別市	道社連協理事：新篠津村 道社連協評議員：石狩市・江別市
43			当別町	北広島市	

※ 年度の会長職は、道社連協理事となる。

※ 年度の副会長職及び上段の監事職は、道社連協評議員となる。

石狩管内社会教育委員連絡協議会規約

(名称及び事務局)

第1条 この会は、石狩管内社会教育委員連絡協議会と称し、事務局を会長所在地市町村の教育委員会に置く。

(組織)

第2条 この会は、石狩管内市町村の社会教育委員及び社会教育に関する審議会等委員で組織する。

(目的)

第3条 この会は、石狩管内各市町村社会教育委員等が連絡協議を図り、石狩管内の社会教育の振興に寄与することを目的とする。

(事業)

第4条 この会は、第3条の目的達成のために次の事業を行う。

- (1) 会員資質の向上の研鑽
- (2) 管内的な社会教育事業の協力
- (3) 社会教育の調査研究
- (4) 社会教育相互の情報交換
- (5) その他目的達成に必要な事項

(役員)

第5条 この会に次の役員を置く。

- (1) 会長 1名
- (2) 副会長 1名
- (3) 理事 若干名
- (4) 監事 2名

(役員の仕事)

第6条 会長は、この会を代表し、会務を総括する。

2 副会長は、会長を補佐し、会長事故ある時は、これを代理する。

3 理事は、会務を分担する。

4 監事は、会計を監査する。

(役員の仕事及び任期)

第7条 役員は、総会で選出する。

2 会長、副会長及び理事は、各市町村の委員を代表する者から選考する。

3 任期は2年とし、再任を妨げないものとする。ただし、補欠役員の任期は、前任者の残任期間とする。

(事務局員)

第8条 事務局長及び事務局員は、会長が委嘱する。

(総会及び役員会)

第9条 この会の会議は、総会及び役員会とする。

2 総会は、毎年1回会長が招集し、事務報告及び決算、事業計画及び予算、役員選出、規約改正その他重要事項について審議決定する。

3 役員会は、総会決定事項の執行及び緊急事項の処理に当たる。

4 会長は、必要に応じ、臨時総会を招集することができる。

(経理)

第10条 この会の経理は、会費、助成金、その他をもって充てる。

(会計)

第11条 本会の会計は、毎年4月1日に始まり、翌年3月31日に終わる。

附 則

本会の規約は、昭和32年3月13日から施行する。

附 則

本会の規約は、昭和38年5月15日から施行する。(一部改正)

附 則

本会の規約は、昭和39年4月23日から施行する。(一部改正)

附 則

本会の規約は、昭和42年6月19日から施行する。(一部改正)

附 則

本会の規約は、昭和44年5月10日から施行する。(一部改正)

附 則

本会の規約は、昭和47年9月8日から施行する。(一部改正)

附 則

本会の規約は、平成12年4月21日から施行する。(一部改正)

附 則

本会の規約は、平成17年4月15日から施行する。(一部改正)

出席者名簿

(平成30年4月11日)

市町村名	氏 名	役 職	備 考
江 別 市	佐 藤 レイ子	委員長	監 事
	吉 田 美 幸	生涯学習課 主任	
千 歳 市	釣 晴 彦	委員長	
	星 野 泰 宏	生涯学習課 係長	
恵 庭 市	松 田 一 則	委員長	
	中 村 知 暉	社会教育主事	
	安 藤 友 晶	社会教育課 主査	
北 広 島 市	北 側 理	委員長	
	古 内 誠 也	社会教育課 主事	
石 狩 市	木 村 純	委員長	副 会 長
	斉 藤 晶	社会教育課 主査	
新 篠 津 村	佐 藤 千 佳	委員長	会 長
	松 村 修	教育次長	事務局長
	今 田 武 彦	社会教育係長	
当 別 町	小 出 真 二	社会教育課 課長	
	小 川 義 則	社会教育課 主幹	
石 狩 教 育 局	岩 渕 隆	石狩教育局 局長	来 賓
	清 水 秀 紀	社会教育指導班 主査	